



きもつき119

令和2年10月
第97号



令和2年7月31日現在

管内人口	137,725人
男	65,954人
女	71,771人
世帯数	69,767世帯

きもつきは私たちが守る



編集・発行 大隅肝属地区消防組合
Tel 0994-52-0119
HP (<http://www.fd-kimotsuki.jp/>)
「きもつきしょうぼう」入力でクリック

当番病院の問合せ先
Tel 0994-43-0119
(音声ガイダンスで案内します)



令和2年秋季火災予防運動の実施

実施期間：令和2年11月9日(月)～11月15日(日)

火災予防運動は、火災が発生しやすい時期を迎えるに当たり、火災予防を呼びかけて、火災の発生を防止し、地域住民の安全と安心を守ることを目的に行われています。



消防署と消防団の合同訓練



保育園・幼稚園との防火パレード

※ この他にも、高齢者を対象とした防火教室や防火広報など、いろいろな活動により防火を呼びかけています。

運動期間中、各市町で訓練を実施する際サイレンを鳴らしますが、火災と間違わないようご注意ください。

秋から冬にかけては、空気が乾燥し、より火災が発生しやすくなります。
他人事だと思わず、防火意識を高めていきましょう！



火災が多発しています！



令和2年の上半期における火災件数は、昨年と比較し増加傾向となりました。特に多かったのは**たき火**による延焼で、予想以上に燃え広がったことで消火が困難となり、119番通報するケースでした。たき火による火災のほとんどは、少しの不注意で発生しています。ケガ人や損害が発生している事案もあり、注意しなければなりません。

たき火は、燃やす目的や物、量によって例外的に認められているものもありますが、煙やにおいで周囲に迷惑がかかる場合もあるので、むやみに行ってよいものではありません。

たき火をする必要がある場合には、次のチェック項目を確認してみましょう。



確認してみよう！



その“火”大丈夫ですか？

- 風は強くないですか？
- 燃やす物は多くないですか？
- 近くに**建物**はありませんか？
- 消火**の準備はできていますか？
- 火の後始末**はきちんとできていますか？



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う 119番通報時の対応について



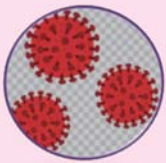
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による対応を、通信指令室では以下のとおり実施していますので、御理解と御協力をお願いいたします。

✖ 119番通報時、発熱、呼吸器症状及び倦怠感等がある場合、通信指令員が次の事項について確認します。

Q1 国内で新型コロナウイルス感染症の感染が確認されている地域への旅行歴等又は感染が確認された者との濃厚接触歴があるか。

Q2 新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域への海外渡航又は居住していた者との濃厚接触歴があるか。

Q3 海外で新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域への渡航歴があるか又は居住していたか。



これらの事項を聴取し、新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、消防署から鹿屋保健所へ連絡し、対応することとなります。



消毒用アルコールの安全な取扱いについて

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えていますが、消毒用アルコールは火気により引火しやすく、また、消毒用アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところに滞留しやすいため、多量に取り扱う場合には換気が必要であるなど、火災予防に注意する必要があります。



火災予防上の一般的な注意事項



★ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



★ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことは避けましょう。

★ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



★ 消毒用アルコールを容器に詰め替える場合は、漏れ、あふれ又は飛散しないよう注意しましょう。

また、詰め替えた容器に「消毒用アルコール」や「火気厳禁」などの注意事項を記載してください。



★ 消毒用アルコールの容器を落下させたり、衝撃を与えることがないよう気をつけてください。

在宅時間が増えた今！ もう一度ご自宅の火災予防について考えてみよう！

※すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから来年の6月1日で10年を迎えます。

電子部品の寿命は10年が目安とされています。古くなると電子部品の寿命や電池切れで感知しなくなることがあります。



えー！！せっかく設置したのに火災を感知しなくなるのか！？それは大変だ！！

外出自粛の今は子どもたちが家にいる時間が増えているから心配だわ！！でも、肝心の点検の方法が分からない。。



それなら大丈夫！点検方法はとても簡単です。定期的な確認が家族の安全を守ります！！

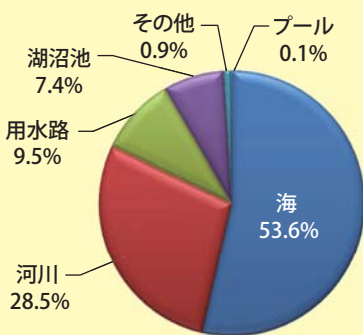


★ボタンを押す（ひもを引く）と正常な場合は火事を知らせる音声流れます。
★ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しない場合は「電池切れ」もしくは「機器本体の故障」ですので、機器本体の交換をお願いします！

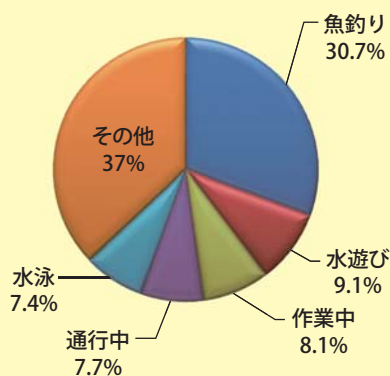
※もしもの時、作動するよう日頃から確認をしておきましょう！

水難事故を防いで、大切な命を守ろう！

発生場所別



発生行為別



「水難事故」というと、レジャーが盛んになる夏場の海、川、プールで発生するのをイメージされる方が多いのではないのでしょうか。本消防組合管内では秋から冬にかけての魚釣りシーズンに、磯場等で多発しているのが特徴です。

左のグラフでもわかるように海での発生が半数を占めており、魚釣りでの事故が3割以上となっています。

いったん事故が起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いのが、水難事故です。

事故を防ぐポイントをチェックして、水難事故防止に努めましょう。

事故を防ぐポイント

1. 安全な場所の確認
2. 健康状態の確認
3. 気象・海情報の確認
4. グループ行動
5. ライフジャケットの着用
6. 連絡体制の確保

寒い日はヒートショックに注意！！



冬になると、風呂場や脱衣所でお年寄りが倒れたり亡くなったという話を聞いたことがあると思います。風呂場で倒れた場合、発見が遅れて重症化することも多いようです。こうした事故で死亡される人は年間、約1万4千人にのぼり自宅で亡くなる原因の4分の1を占めるといわれています。その原因のひとつとして、「ヒートショック」があげられます。

ヒートショックとは、急激な温度変化が体に及ぼす影響のことで、室温の変化によって血圧が急激に上昇したり下降したり、脈拍が速くなったりする状態のことです。特にお年寄りは血管がもろくなっており、血圧の変化に対応できずに脳卒中や心筋梗塞を起こしやすくなります。



心当たりのある方はご注意を！

- 65歳以上
- 高血圧症や糖尿病、動脈硬化がある
- 不整脈がある
- 一番風呂に入ることが多い
- 熱いお風呂が好き
- 飲酒後にお風呂に入る



ヒートショックを防ぐポイント!!

- ① 入浴前に浴室や脱衣所を温めましょう。
- ② 湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。
- ③ 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう。
- ④ 食後すぐの入浴、またアルコール摂取後の入浴は控えましょう。
- ⑤ 入浴前に同居者に一声かけて、見回ってもらいましょう。



救急功労者表彰



令和2年5月4日、鹿屋市新川町の堤防上の道路で発生した救急現場において、救急車が到着するまでの間、偶然その場に居合わせた伊東大樹さんが、迅速かつ適切な応急手当を行い、心肺停止状態の成人男性を無事社会復帰に導きました。

中央消防署は、今回の伊東大樹さんの人命救助という多大な功績に対し表彰状を授与しました。

また、伊東大樹さんは救急講習を受講した経験があり、心肺蘇生法を熟知していました。当消防組合でも、伊東大樹さんのような勇気あるバイスタンダーを育成できるように、今後も心肺蘇生法の普及啓発に努めたいと思います。



救急講習について

本消防組合では、現在、新型コロナウイルス感染防止対策のため、救急講話、心肺蘇生法の手順の説明・展示のみの、三密及び接触を避けた一般救急講習に限り実施しています。お問い合わせは、お近くの消防署・分署までお願いします。



新型コロナウイルス感染防止対策について

新型コロナウイルス感染防止対策のため心肺蘇生法に一部変更があり、成人には原則人工呼吸はせず、胸骨圧迫と自動体外式除細動器（AED）による心肺蘇生法を実施。子供は人工呼吸との組み合わせが望ましいが、胸骨圧迫だけでもよいこととなりました。



新消防職員紹介



令和2年度、7人の新人消防士が仲間入りしました。現在は消防学校初任教育を卒業し、それぞれの所属する消防署で日々頑張っています。



西村 亜沙美 29歳
大島郡与論町出身
中央消防署

多くの方の支えがあり、消防職に就くことができました。感謝の気持ちを忘れず、消防士としての自覚を持ち、一日でも早く一人前の消防士になれるよう精進します。また、住民の方とのふれあいを大切に、優しさと思いやりを持ち、親しみのある消防士になれるよう頑張ります。



橋口 隆之 24歳
始良郡湧水町出身
中央消防署

どんな状況であっても「安全・確実・迅速」な現場活動を遂行できるよう頑張りたいです。また、住民の方に信頼され、頼られるように日頃から公務員としての自覚を持った生活を心掛けます。



谷口 瑠星 18歳
志布志市有明町出身
南部消防署

消防職員になれたことを誇りに思い、日々訓練を怠らず自信と責任を持ち、先輩に一日でも早く追いつけるように頑張ります。住民の方々が安心して暮らせる街にしていきたいと思えます。まだまだ未熟ですが、成長していけるように頑張ります。



小山 海斗 18歳
鹿屋市寿出身
東部消防署

幼い頃から憧れていた消防職員という職につけたことを嬉しく思います。消防職員として必要な知力、体力、精神力の向上に努め、一日でも早く一人前の消防士になり、先輩に追いつけるように頑張ります。地域住民に信頼されるよう努力していきます。



松山 雄磨 21歳
指宿市山川出身
中央消防署

まず、私が消防官になれたことに感謝し、私を消防官として迎え入れてくださったその恩を住民の方々に結果として返していきます。新人、ベテラン関係なく、住民の方から見れば全員がフロの消防士です。そのことを忘れず、日々の訓練や現場での活動等、邁進していきます。



山根 直城 19歳
鹿屋市上谷町出身
南部消防署

消防職員となり、とても嬉しく思います。今の私は消防職員として日が浅いため、まだまだ学ぶことが多いです。これから公正明朗かつ能率的に職務を遂行し、地域住民の信頼と期待に応える消防職員になるためにも、学術技術の習得、体力・気力の練成に取り組んでいきたいと思えます。



下濱 巧 18歳
鹿屋市川西町出身
東部消防署

中学生からの夢であった消防士になれたことに慢心せず、日々鍛錬し、全力で地域の安全を守っていきけるように頑張ります。そのためにも、時代と共に消防士に求められることが変わってくると思えます。その時代で臨機応変に対応できるように、もっと多くのことを学び、知識や技術を高めていきたいと思えます。



消防学校初任教育での訓練等の様子

初任教育とは、新規採用の消防職員を対象に消防業務全般に関する基礎的知識・技術を習得させ、あわせて体力・気力・団体活動能力を身につけさせ、卒業後直ちに消防隊員として活動できるように約半年間にわたって実施されています。